

心ひとつに

弥富市立桜小学校
学校だより
No.14
平成25年10月29日

ワンピース、シャンクスの言葉を忘れずに！

10月28日（金）の全校朝礼では、「ワンピース」の話をしました。なぜ、この少年漫画が国民的人気を博しているのか？それは、夢への冒険・仲間たちとの友情といったテーマを前面に掲げ、バトルやギャグシーンだけでなく、感動エピソード、戦争や権力、領土問題、宗教問題、人種差別など様々な社会問題を風刺する内容も織り交ぜているからだと思われます。

その「ワンピース」の中から、仲間を思うシャンクスの言葉を全校児童に紹介し、卑怯ないじめや自分勝手ないじめを許さず、「桜っ子しぐさ」で友達に接していこうと話しました。

全校朝礼の話より（10／28）

仲間、友達を思う言葉

今日は、このお話をします。何ですか？はい、そうですね。みなさんの大好きな「ワンピース」です。「ワンピース」の主人公は・・・？麦わら帽子のルフィーです。ルフィーは立派な海賊王になることを夢見て、海賊船に乗り、宝物探しの旅に出ます。その途中で、いろんな仲間達に出会っていきます。

「ワンピース」は、日本で大ヒットしています。日本だけで2億9000万冊も売れています。日本の人口が1億2000万人だとして、日本中の人々が、赤ちゃんからお年寄りまで、一人2冊ずつワンピースを買って読んだこととなります。外国でも大ヒットしているそうです。

そして、第一話で（「ROMANCE DAWN -冒険の夜明け-」）感動的な言葉に出会いました。それは、シャンクスが山賊に言った言葉です。

「いいか山賊、俺は酒や食べ物を頭からぶっかけられようがたいのことは笑って見過ごしてやる。だが、どんな理由があろうと、おれは仲間を傷つけるやつは許さない。」友達を心から大事にするこの言葉、校長先生はシャンクスの大ファンになりました。

その他、友達を大事にする言葉がいっぱい出てきます。言葉だけではありません。**命がけで仲間を助けるために戦ったり、逆に間違いを犯そうとする仲間がいると体を張ってケンカしてでも説得して止めたりします。**ルフィーたちにはケンカはありますが、**「卑怯ないじめ」や「自分勝手ないじめ」はありません。仲がいいけど、ただの仲良しでなく、いざというときは全力で仲間を守ったり止めたりするんです。相手のことを本当に思っているからこそできることだと思います。**

2億9000万冊も売れたということは、日本中の多くの人々が「友達」を信じ、「卑怯ないじめ」を憎んでいるからだと思います。そんなルフィーたちに世界中が拍手を送っているのです。「仲間」「友達」を大事にすることは世界共通なのです。

みなさんもワンピースが大好きですね。そして、それは、友達を大事にすることを大切にしているからだと思います。

でも、この間、お友達を大事にできなかった子の話を聞きました。校長先生は、とても悲しくなりました。情けなくもあり、怒りも覚えました。

友達とはいつも自分に優しくしてくれる人だけが友達ではありません。いつもはそんなに仲が良くなかった人でも、または最初は嫌いだなあと思っていた人でも、実はいざという時に助けてくれる人だったり、良くない行いをしているとき、「だめだよ、止めなよ」と止めてくれたりする人です。ですからシャンクスの言葉の通り、「**どんな理由があっても友達のことを傷つける人**」はダメです。桜小の今、ここにいる人は、みんな「仲間」です。「友達」なんです。

